

# 好きになる薬物治療学

# contents

## 目次

## 1章 知っておきたい薬の基礎知識

### 1.1 薬とは 2

- A. 薬の材料 2
- B. 薬の安全性と有効性の検証 3
- C. 作用と副作用 3

### 1.2 薬の分類 6

- A. 薬物と薬剤 6
- B. 薬事法と医薬品 6
- C. 薬の剤形 6

### 1.3 処方せん 11

- A. 処方せん 11
- B. 疑似照会 12

## 2章 薬物治療薬の選定まで

### 2.1 セルフケアの医療 14

- A. 医療用医薬品とOTC医薬品 14
- B. 薬を販売するときに気をつけるべきこと 14
- C. スイッチOTC医薬品 15

### 2.2 医療用医薬品 16

- A. 治療薬の選択にはいくつかのパターンが考えられる 16

- B. 病院での治療薬の選定 17

## 3章 薬の動きからみた薬物治療

### 3.1 薬の投与と体内挙動 22

- A. 薬の体内での働き（体内動態） 22
- B. 薬物相互作用 25

### 3.2 PK-PD からみた至適投与方法の算出 33

- A. PK-PDとは 33
- B. PK-PDに基づく抗菌薬の至適投与方法の算出 34
- C. レボフロキサシン水和物（濃度依存性抗菌薬） 35
- D. アルベカシン硫酸塩（濃度依存性抗菌薬） 36
- E. メロペネム水和物（時間依存性抗菌薬） 38

## 4章 剤形からみた薬物治療

### 4.1 貼付剤 44

- A. リドカインテープ（ペンレス<sup>®</sup>）と臨床研究 44
- B. フェンタニルパッチと貼付方法についての検討 50

### 4.2 注射薬の分類と治療の特徴 57

- A. 注射薬とは 57
- B. 注射薬の添加剤 59
- C. 体液生理 59
- D. 輸液療法 62

## 5章 年齢の違いからみた薬物治療

### 5.1 小児の薬物治療 70

- A. 薬用量 70
- B. 生体構成成分の比率の違い 71
- C. 体内のアルブミン量が少ない 71
- D. 薬物血中濃度の測定と薬用量の決定 72

- E. 腸内細菌叢の組成変化 73
- F. 発熱 76
- G. 食物アレルギー 79

## 5.2 高齢者の薬物治療 85

- A. 高齢者の生理的特徴と薬物動態の変化 85
- B. 睡眠導入剤と転倒 87
- C. UDP (Unit Dose Package) 88

## 5.3 妊婦・授乳婦の薬物治療 90

- A. 催奇性 90
- B. 妊娠中の薬の服用 90
- C. OTC 医薬品とサプリメントの注意点 92
- D. 授乳中の薬の服用 94
- E. 葉酸の摂取について 94
- F. 投与禁忌 95

# 6章 抗がん薬～薬効からみた薬物治療

## 6.1 がんの総論 98

- A. がんの進行度 98
- B. 転移 98

## 6.2 がん治療の概要 100

## 6.3 抗がん薬の分類と薬効 101

- A. アルキル化薬 101
- B. 代謝拮抗薬 102
- C. 抗がん性抗生物質 104
- D. 天然由来物質 105
- E. 白金製剤 107
- F. ホルモン剤 109
- G. 分子標的薬剤 110

## 6.4 抗がん薬による治療の概念 113

- A. Biochemical modulation (生化学的修飾) 113

# 7章 痛みと薬～症状からみた薬物治療

## 7.1 痛みに対する適正な治療のために 120

- A. どこがどのように痛いのか 120
- B. 痛みの感じ方 120

## 7.2 頭痛 123

- A. 頭痛の原因のいろいろ 123
- B. 代表的な頭痛と治療薬 125
- C. 薬物治療のみでは対処が困難である頭痛 127

## 7.3 腹部痛 128

- A. 腹部痛の分類と要因 128
- B. 代表的治療薬 128

## 7.4 腰痛 130

- A. 腰痛のタイプと主な疾患 130
- B. 治療薬 130

## 7.5 がんの痛み（がん性疼痛） 132

- A. がんの痛みと評価 132
- B. がんの痛みの治療 132
- C. がんの疼痛治療薬の分類 135

# 8章 病態からみた薬物治療

## 8.1 アナフィラキシーショック 140

- A. 概要 140
- B. 症状 140
- C. 薬物治療 141
- D. 抗菌薬投与時の皮内反応とショック 142

## 8.2 腎不全－透析療法と治療薬－ 146

- A. 治療薬 146
- B. 相反する作用の処方（血圧） 153

## 8.3 耳・鼻・のどの治療薬 156

- A. 耳に対する代表的な疾患と治療 156

- B. 鼻に対する代表的な疾患と治療 159
- C. のどに対する代表的な疾患と治療 162

#### **8.4 消化管疾患治療薬 166**

- A. 食道炎 166
- B. 食道がん 167
- C. 胃炎 167
- D. 消化性潰瘍 168
- E. 胃がん 172
- F. 内視鏡検査 173
- G. 過敏性腸症候群 175
- H. 潰瘍性大腸炎 176
- I. クロウン病 178
- J. 腸炎 178
- K. 大腸がん 179
- L. 虫垂炎 180
- M. 痔核 180

## **9章 薬物治療を妨げるものは何かを考える**

### **9.1 患者側の不十分な理解と判断 184**

- A. コンプライアンスとアドヒアランス 184
- B. 患者が医師の説明を誤って解釈してしまった例 184

### **9.2 服薬遵守の観点からみた用法 187**

- A. 患者の生活を考慮しない用法 187

### **9.3 事例 191**

- A. 保険適用外使用 191
- B. 家族が非協力 191
- C. 薬剤変更 192
- D. 患者の理解 193
- E. 経済的困難 194